

# NRIだより

証券コード：4307 **2023年3月期 第2四半期**  
[2022年4月1日～2022年9月30日]

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	2
上期トピックス	4
NRIプロフェッショナル	6
株主の皆様へのアンケート結果のご報告	7
お知らせ／株主メモ	8



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本経済は、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しています。情報システム投資については、デジタル技術を活用したビジネスプロセス及びビジネスモデルの変革を行うDX(デジタルトランスフォーメーション)を中心に企業の投資需要が引き続き活況を呈しています。一方、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れが国内景気に影響を及ぼすリスク、急激な為替変動、物価上昇やサプライチェーンの制約など先行き不透明な状況が続いており、今後の業績の変調によっては企業投資が絞られる可能性もあります。

このような環境の下、上期の決算発表において、今期の業績予想を上方修正しています。また、「NRIグループ中期経営計画(2019-2022)」の数値目標は全て達成を見込んでいます。

NRIグループは、より一層の事業の拡大に取り組むとともに、中期経営計画に掲げた成長戦略を進め、引き続き持続的な利益成長と株主還元の両立に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年11月  
代表取締役会長 兼 社長

此本 臣吾

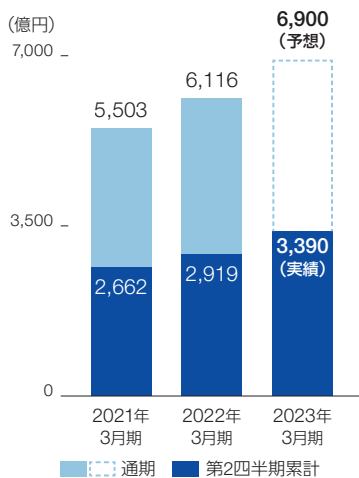
# 決算ハイライト

## 決算のポイント

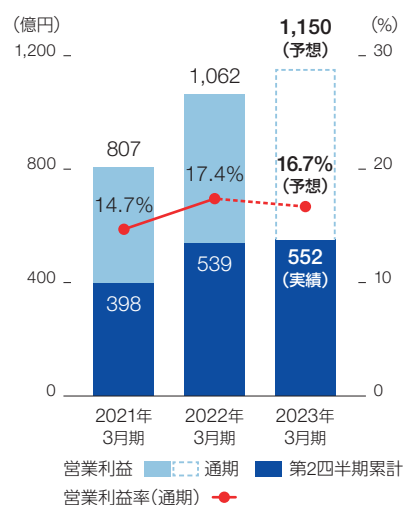
- POINT 1** 売上収益は、保険業・証券業向けシステム開発、豪州事業の成長、北米Core BTSの連結効果などが寄与し、3,390億円(前年同期比16.1%増)となりました。
- POINT 2** 営業利益は、円安の影響による調達費の増加等があったものの、共同利用型サービス利用料の増加等により552億円(同2.5%増)となり、営業利益率は16.3%(同2.2ポイント減)となりました。
- POINT 3** 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、支払利息の増加により358億円(同1.8%減)となりました。

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上収益	2,919億円	<b>3,390億円</b>	+470億円	+16.1%
営業利益	539億円	<b>552億円</b>	+13億円	+2.5%
営業利益率	18.5%	<b>16.3%</b>	-	△2.2p
親会社の所有者に帰属する四半期利益	365億円	<b>358億円</b>	△6億円	△1.8%
基本的1株当たり四半期利益	61円	<b>60円</b>	△1円	-

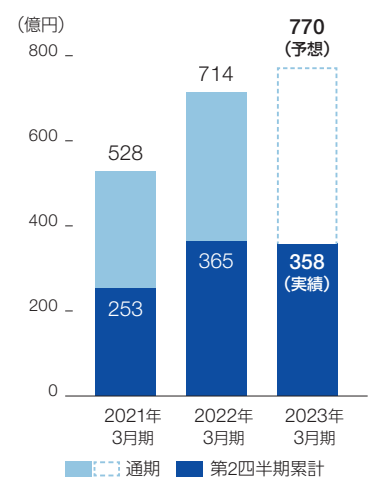
### 売上収益



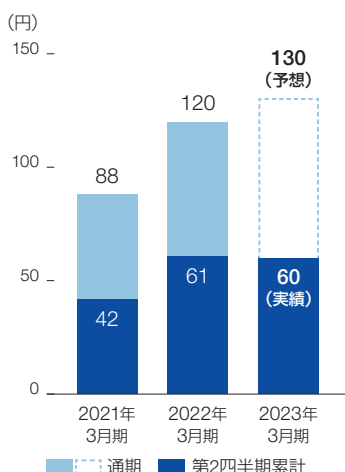
### 営業利益／営業利益率(通期)



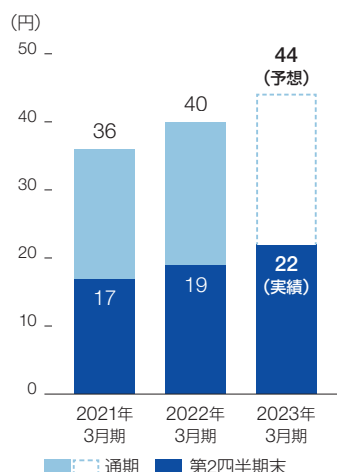
### 親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益



### 基本的1株当たり四半期(当期)利益



### 1株当たり配当金



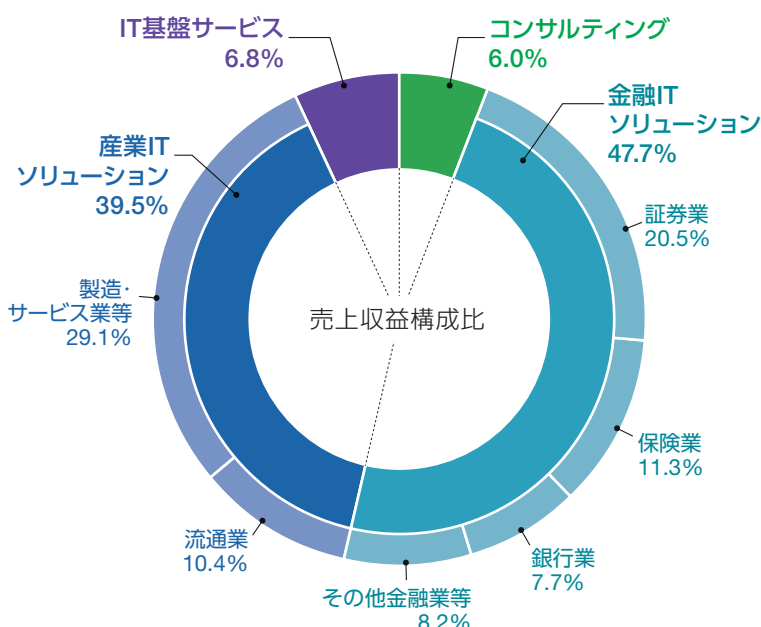
(注) 1. 記載金額は、億円未満(基本的1株当たり四半期(当期)利益及び1株当たり配当金は円未満)を切捨てて表示しています。

2. 2023年3月期通期予想は2022年10月27日に発表したものです。業績予想は当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## セグメント業績のポイント

- POINT 1** コンサルティングは、デジタルトランスフォーメーション(DX)関連案件や社会課題案件が増加し、売上収益は増加しました。一方、海外の収益性悪化により、営業利益は減少しました。
- POINT 2** 金融ITソリューションは、豪州事業の収益性悪化がありましたが、保険業・証券業向けシステム開発や共同利用型サービスの利用料増加などが寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。
- POINT 3** 産業ITソリューションは、北米事業における費用の増加がありましたが、豪州事業の成長や国内における受注環境の改善が寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。
- POINT 4** IT基盤サービスは、オフィスの生産性向上に貢献するデジタルワークプレイス事業や情報セキュリティ事業が寄与し、売上収益、営業利益ともに増加しました。

## セグメント別外部売上収益(2023年3月期第2四半期累計)



## 売上収益前年同期比較

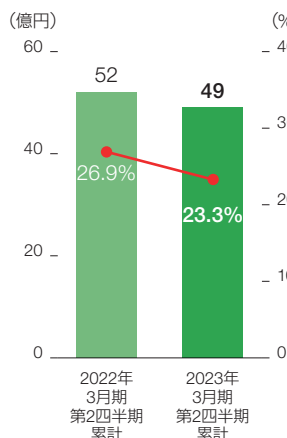
(億円)	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比
<b>コンサルティング</b>	188	<b>202</b>	7.4%
<b>金融ITソリューション</b>	1,458	<b>1,618</b>	10.9%
証券業	644	<b>695</b>	7.9%
保険業	318	<b>382</b>	20.0%
銀行業	229	<b>260</b>	13.6%
その他金融業等	265	<b>279</b>	5.2%
<b>産業ITソリューション</b>	1,076	<b>1,337</b>	24.3%
流通業	333	<b>352</b>	5.5%
製造・サービス業等	742	<b>985</b>	32.8%
<b>IT基盤サービス</b>	196	<b>231</b>	18.0%
合計	2,919	<b>3,390</b>	16.1%

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

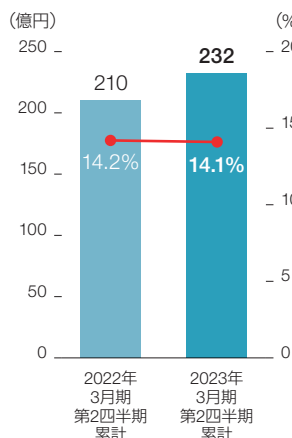
## セグメント別損益(2023年3月期第2四半期累計)

営業利益 ■ ■ ■ 営業利益率 ●

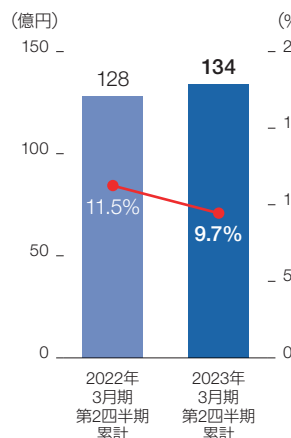
### コンサルティング



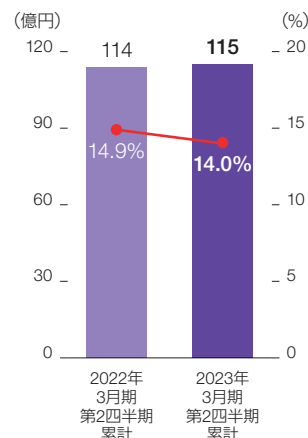
### 金融ITソリューション



### 産業ITソリューション



### IT基盤サービス



(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。



## NRI、NRIデジタルが保有する特許及び運営知見を活用し、JR東日本と共同で「どこかにビューーン!」を提供

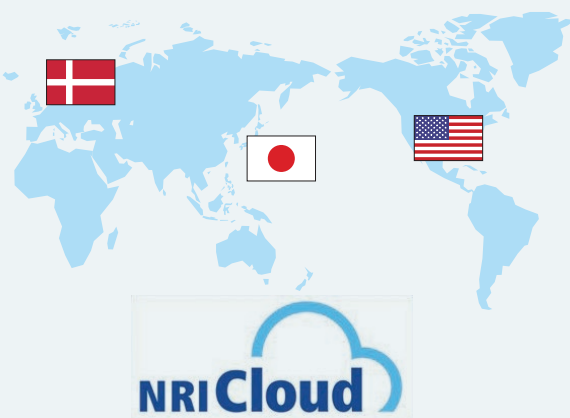
2022年12月よりサービス開始予定の「どこかにビューーン!」は、NRI、NRIデジタルが保有する特許及び運営知見を活用し、東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)と共同で提供するものです。

「どこかにビューーン!」は、思いもよらない素敵な場所への旅を通じて新たな出逢いや体験を楽しむことができる新幹線の新しいサービスです。このサービスは、駅ビルでの買い物や駅レンタカーの利用と連携しておトクに利用できるキャンペーンに活用されています。

私たちは、今後も、新たなビジネスモデルなど付加価値の高い知見・技術を構築・活用しながら、顧客企業が提供するサービスの高度化を通じて、活力ある未来社会づくりに貢献していきます。



## マルチクラウド時代におけるマネージドサービスの提供体制を拡充 ～新たにデンマークでの運営を開始し、24時間365日高度な専門性を提供～



2022年6月、システム運用・保守の提供体制を拡充するため、Nomura Research Institute Denmark, filial af Nomura Research Institute Europe Limited, Storbritannien(以下「NRIヨーロッパデンマーク支店」)でのサービス運営を開始しました。これにより、NRIが提供するシステム運用・保守は、日本(東京、大阪)とアメリカ(ダラス)にNRIヨーロッパデンマーク支店を加えた、日本・米国・欧州の3つの地域で運営するフォローザサン<sup>※</sup>型となりました。システム運用・保守に従事する技術者が8時間ごとの勤務となることで、技術者の労務環境改善やサービス品質向上を実現します。

※ フォローザサン:時差が十分に確保できる世界の数か所に拠点を設け、24時間体制で業務や事業を継続すること

## 「NRI未来創発フォーラム2022」を開催

2022年10月17日、「デジタルが拓くポストコロナの未来像」と題し、東京国際フォーラム及びウェブによるライブ中継にて「NRI未来創発フォーラム2022」を開催しました。

基調講演では、此本が、デジタルによるウェルビーイング<sup>※</sup>向上、日本企業の戦略、そして日本のとるべき方向性などについて提言しました。また、特別対談では、世界情勢が不安定で先が見えない状況のなか、デジタルをはじめとしたテクノロジーがどのような役割を果たすのか、日本企業や日本人はどう向き合っていくべきかなどについて、『WIRED』創刊編集長のケヴィン・ケリー氏と此本が対談しました。

※ ウェルビーイング:あらゆる市民が身体的、精神的、社会的に良好で、個々人の理想が実現されている状態



講演するNRI代表取締役会長 兼 社長の此本

## 「キッズニア福岡」に最先端テクノロジーを活用した社会課題解決を体験するパビリオンを出展



2022年7月、KCJ GROUP 株式会社が企画・運営するこどもの職業・社会体験施設「キッズニア福岡」に、最先端テクノロジーを活用した社会課題解決を体験するパビリオン「ビジネスイノベーションセンター」を出展しました。NRIのビジネスを模したこのパビリオンでは、社会課題を解決するためのアイデアを考えてプレゼンテーションを行う「ビジネスデザイナー」、AI画像認識技術を用いて資源ゴミの分別ロボットシステムを開発する「DXエンジニア」の2つの職業を体験できます。

NRIは、より良い未来社会の創発と、社会とのより強い信頼関係の構築のために、未来を担うこども達に向けた人材育成活動を展開してきました。従前より取り組んでいる「NRI学生小論文コンテスト」や「小・中・高校生向けキャリア教育プログラム」に加え、今回のパビリオン出展を通じたさらなる人材育成活動の展開によって、「持続可能な未来社会づくり」に貢献していきます。



キッズニア出展にけるNRIの想い  
<https://www.nri.com/jp/kidzania>



## ジャパンタイムズ主催「Sustainable Japan Award 2022」で最優秀賞を受賞

2022年8月、NRIは、株式会社ジャパンタイムズ主催(後援: 経済産業省、環境省、金融庁)の「Sustainable Japan Award 2022」において、最高賞である最優秀賞を受賞しました。

今回の受賞は、NRIの創業時から続く「事業を通じた社会課題解決」の取り組みが評価されたものと考えています。特にITソリューション分野での共同利用型サービスの提供、NRIの保有するデータセンターにおける再生可能エネルギー利用推進、サステナビリティ関連分野でのコンサルティングサービスの提供などが評価されました。



表彰式の様子  
 右: 公益財団法人国際金融情報センター  
 非常勤顧問 加藤 隆俊氏  
 左: 株式会社野村総合研究所  
 代表取締役会長 兼 社長 此本 臣吾



## カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の実現に向けて

サステナビリティ事業コンサルティング部  
グループマネージャー

稲垣 彰徳

私は、カーボンニュートラルの実現に向けて、官庁及び民間企業のコンサルティングに取り組んでいます。

カーボンニュートラルへの関心の高まりは、国際的な枠組みとして各国の温室効果ガス排出量の削減目標が設定されたこと、ESG投資の考え方が広がり企業の取組みに対する情報開示が求められていることを背景としています。企業にとって、気候変動への対応は、従来では社会貢献活動の一環として自主的に可能な範囲で取り組むテーマでしたが、現在では企業価値に影響する経営課題として認識されつつあります。

カーボンニュートラルが企業に与える影響や機会は業界及び事業内容によって異なるため各企業に個別の対応が必要とされる側面がある一方で、国や地域を超えた取組みとして共通する業界横断的な側面もあります。NRIでは、カーボンニュートラルの検討課題を、経営レベル、事業レベル、業務レベルの3階層に分けて整理し、様々な企業に対して実践的なコンサルティングを行っています。

今後は、コンサルティングの領域を超えてカーボンニュートラルの実現に貢献したいと考えています。



NRI Voice

[https://www.nri.com/jp/voice/1st/2021/1130\\_1](https://www.nri.com/jp/voice/1st/2021/1130_1)



# NRI PROFESSIONAL

NRIプロフェッショナル

## デジタル変革(DX)を目指す企業と共に新しいビジネスを創出する

NRIデジタル

DX企画 プロデューサー

新井 朗

私は、主に航空・鉄道業界の企業と共に、新しいデジタルビジネスを創出しています。具体的には、2016年のサービスイン以来ヒットサービスとなっている日本航空株式会社との共同事業である「どこかにマイル」や、2022年12月にリリース予定のJR東日本と共同で提供する「どこかにビューーン!」において企画開発に携わりました。

現在、私が注目しているのは、都市部と地域の「関係人口」創出というテーマです。「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と継続的に関わる人々です。具体的には、リモートワークや別荘が目的で一定期間滞在したり、ECサイトで頻繁に特産物を購入したりするなど、継続的に地域経済に貢献してくれる人々です。こうした「関係人口」創出は、地域活性化という社会課題の解決につながるだけでなく、コロナ禍のリモートワーク浸透により従来型の移動需要が減った航空・鉄道業界の新規ビジネスにもつながるテーマだと考えています。



NRI People

[https://www.nri.com/jp/people/1st/ips/akira\\_arai](https://www.nri.com/jp/people/1st/ips/akira_arai)

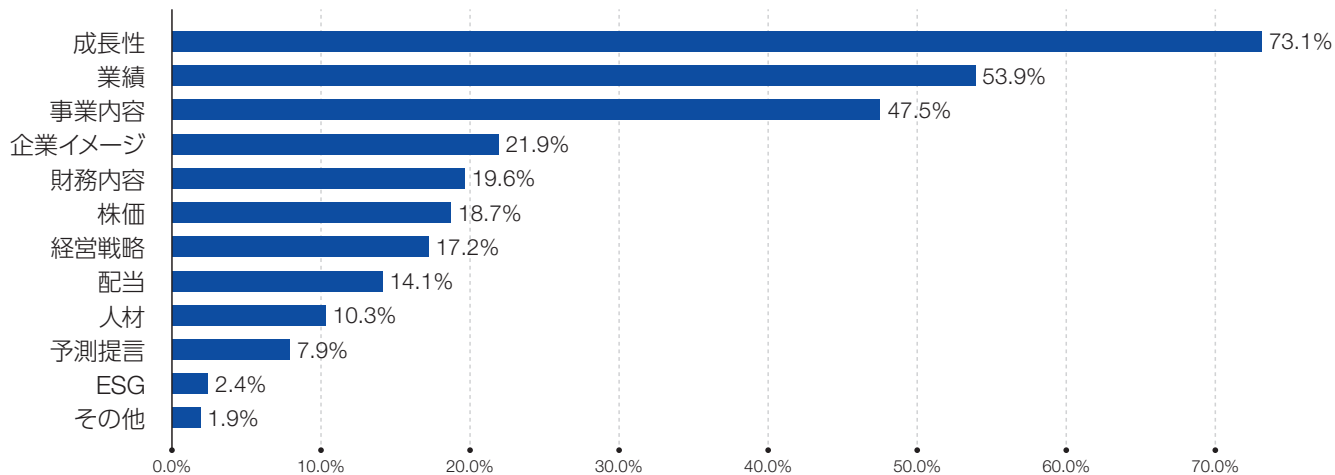


# 株主の皆様へのアンケート結果のご報告

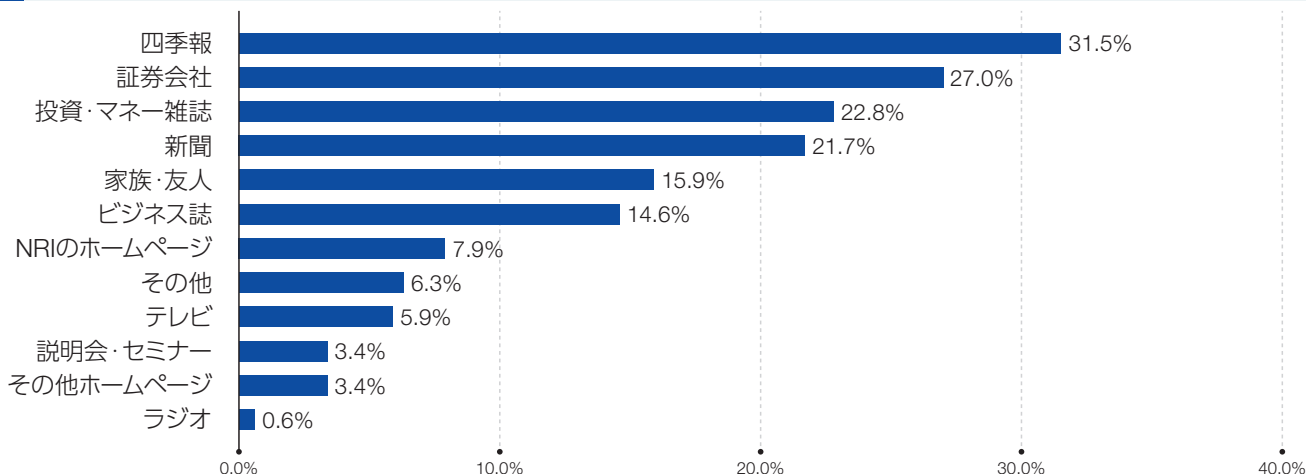
「NRIだより2022年3月期」アンケートにご協力を賜り、心より御礼申し上げます。主な集計結果をご報告いたします。

有効回答数：5,217名 回答率：24.7%

## Q NRI株式購入にあたり、NRIのどこに魅力を感じましたか？（いくつでも）



## Q NRI株式購入のきっかけになった情報源を選んでください。（いくつでも）



## アンケートへのご回答をお願いいたします

今回のNRIだよりもアンケートを同封しております。株主の皆様のご意見をお聞きし、経営やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

2022年12月31日までにご返送いただいた方には、文具業界で初めてエコマーク認定を取得したボールペン「ジェットストリーム 海洋プラスチック」をお送りします。なお、回答者多数の場合には、やむなく代替の品をお送りすることがございますが、あらかじめご了承ください。



ジェットストリーム 海洋プラスチック

## 個人投資家説明会を開催（2022年9月15日）

2022年9月15日にオンラインによる個人投資家説明会を開催しました。

NRIでは個人投資家の皆様に当社の事業内容や取組を知っていただくために、毎年説明会を実施しています。今後もオンラインなどを活用し、個人投資家の皆様に向けた情報発信を行ってまいります。

当日の資料及び動画はウェブサイトよりご覧いただけます。  
<https://ir.nri.com/jp/ir/individual/briefing.html>





## 統合レポート2022のご紹介



NRIの事業活動を包括的に記載した「統合レポート2022」を発行しました。

トップメッセージでは、2030年に向けた成長ストーリーについてわかりやすくご紹介しています。また、NRIの変わらぬ価値共創のあゆみ、NRIの競争優位性、成長戦略、価値共創を支える仕組みなどの非財務情報と過去10年間の要約連結財務諸表などの財務情報を掲載しています。



統合レポート2022

<https://ir.nri.com/jp/ir/library/report.html>



## 株主総会資料の電子提供制度開始に伴うお知らせ

2022年9月1日に改正会社法が施行され、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。これに伴い、上場会社は株主総会資料のインターネット上(ウェブサイトへの掲載など)でのご提供を義務づけられるとともに、郵送によるご提供の取り止めが可能となりました。

NRIは、株主の皆様の利便性の観点から、当面はこれまで通り郵送と当社ウェブサイト等への掲載によるご提供を継続いたします。ご提供方法を変更する場合には、あらかじめご案内いたします。



株主総会

<https://ir.nri.com/jp/ir/stock/meeting.html>



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告(公告掲載URL <a href="https://pn.nri.com/">https://pn.nri.com/</a> ) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
配当受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵送先) (電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 <b>0120-232-711</b> (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4307

## 株式会社野村総合研究所

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ  
TEL 03-5533-2111 <https://www.nri.com/jp/>



### 株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取請求



口座を開設されている証券会社へ  
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会



三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へ  
お問い合わせください。  
電話照会先は左記をご参照ください。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。